



アパレル業界／販売

スケッチャーズジャパン合同会社
アンティ・クナスさん

Ressun Lukio 出身 (フィンランド)
HAAGA-HELIA University of Applied Sciences 卒業 (フィンランド)
2014年経済学研究科修了



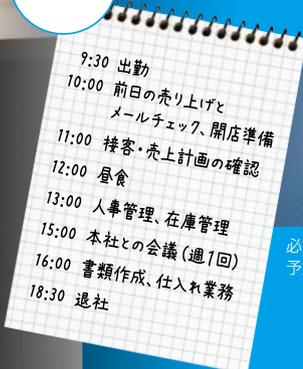
勉強と就職活動の経験から、
諦めない人材の育成に力を入れています。

フィンランド出身のアンティ・クナスさんは、スケッチャーズジャパン合同会社に入社して1年半になります。現在は、神戸元町1番街にある神戸元町店で店長を務めています。オリジナルシューズの仕入れや在庫、販売から売り上げまで、店舗を総合的に管理しています。中学の頃から各国の言語を学んでいましたが、高校時代に日本語と出会い、勉強するうちに日本への関心を深めたのだそう。漢字を1200字覚えるなど、語彙力には自信がりましたが、言葉や文化をもっと知りたいと考え、フィンランドの大学在学中に1年間、日本への交換留学を経験。弱点だった会話を、授業とホームステイで強化しました。

大学卒業後、関西大学経済学研究科に入学し、日本経済史を専攻。日本の経営者や経済発展の足跡を学びました。学んだことを仕事に生かそうと、日本での就職を決意し、就職活動を始めますが、企業の採用基準がつかめずに戸惑います。不採用が続く中、落ち込むこともありましたが「気にしすぎるとチャンスを逃すかもしれないので、積極的に行動するよう気持ちを切り替えました」。その結果、アパレル企業に採用されます。真剣に仕事に取り組みながらも、将来を見据えてより高いスキルを身に付けたいと考えていたとき、スケッチャーズにスカウトされて入社。半年間、副店長を務めた後、店長に就任します。現在は人材育成に力を入れ、店長・副店長が不在でもスタッフに店舗を任せられるように、社員の自主性を育てているそうです。また自身の経験から「失敗してもそこから学べばいい。落ち込まずに次も100%の力でやってほしい」と話します。

勉強が趣味というクナスさんは、時間があれば、さまざまなジャンルの書籍を読むのだとか。最後に「興味があることに全力で取り組み、将来に生かせるスキルを、何か一つ身に付けてほしい」とエールを送ってくれました。

ある1日のスケジュール



必須アイテムは、情報収集に必要なカメラ、税込み価格を計算する電卓、予定を管理するためのスケジュール帳など

Store Manager